

2026 年 7 月 31 日

東急不動産ホールディングス株式会社

ESG 投資指数「FTSE 4 Good Index Series」構成銘柄に 17 年連続で選定

～全業種で国内第 7 位の「スコア 4.8」を取得、
持続可能な社会と自社の成長の実現に向けた取り組みが国際的に高く評価～

東急不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：星野 浩明、以下「当社」）は、世界的な ESG 投資指数である「FTSE4Good Index Series」（フィッチ・フォー・グッド・インデックス・シリーズ）の構成銘柄に、2010 年以降 17 年連続^{※1}で選定されましたことをお知らせいたします。

当社スコア 4.8 は今回選定された日本企業において、最高スコア 5.0（3 社）、4.9（3 社）に次ぐスコアで国内第 7 位に位置し、国内の不動産業で最上位となります。この結果は、これまで注力してきた ESG の取り組みや、環境経営・DX という全社方針のもとでの戦略や事業活動、リーダーシップやステークホルダーエンゲージメントが評価されたものと認識しております。

^{※1} 東急不動産株式会社として 2010 年～2013 年まで 4 年連続選定、東急不動産ホールディングス株式会社設立後、2014 年～2026 年で 13 年連続選定。

■選定の背景

本指標を開発・発表している FTSE Russell は、ロンドン証券取引所グループの完全子会社であり、1995 年に設立され、株式、債券など多くのグローバルなインデックスの他、ESG や気候変動データを用いた各種 ESG インデックスを算出、機関投資家向けに様々な情報、分析を提供しています。「FTSE 4 Good Index Series」は、環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）の 3 つの側面から世界各国の大手企業の持続可能性を評価し、総合的に優れた企業を選定し、構成されます。

■評価の背景

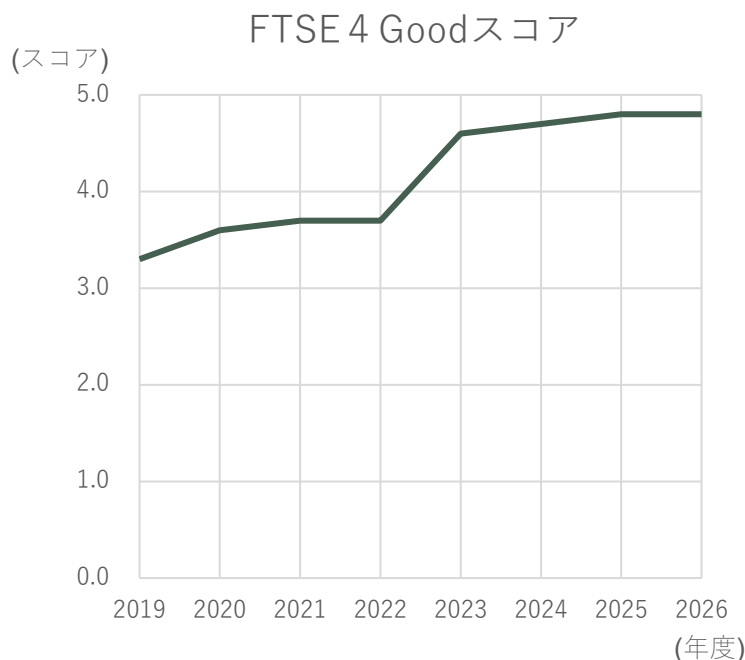
社会や投資家から求められる基準が年々高度化している中、16 年前から継続的に評価を向上させていることは、当社のガバナンスとリスク管理体制が強固かつ柔軟で時代に合わせてアップデートされているものであり、これまでのサステナビリティ経営の深化とともに、充実した分かりやすい情報開示、中長期的なリスクマネジメント、全社方針の環境経営、DX の経営戦略などが評価されたものと考えています。

また、今回の選定にあたって、環境においては脱炭素社会だけでなく生物多様性や資源循環、社会においては人権・健康安全・労働基準などともにサプライチェーン全体でのサステナビリティ推進、ガバナンスにおいてはリスクマネジメントなどの多くのテーマで高い評価を受けました。特に気候変動においては、経営や事業活動の中で、体系的な戦略、目標設定や取り組みがグループ全体で進められており、今後も将来にわたって「持続的成長が期待できる企業」として評価された結果ととらえております。

■FTSE Index の選定状況

また、この度当社は、年金積立管理運用独立行政法人（GPIF）が ESG 投資におけるベンチマークとして 2017 年より採用している「FTSE JPX Blossom Japan Index」にも設定来 10 年連続、ならびに 2022 年 3 月から新たに採用している「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」にも設定来 5 年連続で選定されました。

当社では、2021 年 5 月に、長期ビジョン「GROUP VISION2030」を策定し、「事業活動を通じた社会課題解決」を掲げており、利益成長と同時に、ESG に関する取り組みも積極的に行い、以下のグラフのように、評価を継続的に向上させています。



今回の高い評価は、社会から当社への期待であるともとらえており、事業活動を通じて社会課題を解決し、ステークホルダーとともに、サステナブルな社会と成長の実現に向け、引き続き、持続的成長と企業価値の向上に取り組んでまいります。

■ESG 指標の選定状況

上記の他、ESG 総合指数では、MSCI ESG レーティングにおいて「AA」評価を 3 年連続で獲得いたしました。

また、人的資本経営に関連して、ジェンダー・ダイバーシティ指数である、Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index に選定されています。さらに、MSCI 女性活躍指数（WIN）の構成銘柄にも選定されています。女性従業員数や管理職、取締役会における女性の割合、ダイバーシティへの取り組みなど女性の活躍に関する開示情報をもとに、多様性に優れ、長期的に持続可能な成長が見込める企業が選定されるものです。当社は 2017 年度に初めて選定され、その後 2021 年度から 6 年連続して選定されています。

その他、下表をご参考ください。

■当社が選定されている代表的な ESG 投資指数

FTSE4Good Index Series	FTSE JPX Blossom Japan Index	FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index	S & P / J P X カーボン・エフィ シエント指数	GRESB
ロンドン証券取引所のグループ企業である FTSE Russell 社により開発された株式指標。2010 年以降、2026 年まで、通算 17 年連続で選定されています。	2017 年より創設された、ESG について優れた対応を行っている日本企業の指標。10 年連続で選定されています。年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF、以下同様）が ESG 投資のための株式指数として採用しています。	2022 年より新たに創設された、ESG についてセクター毎に ESG Rating が高い日本企業を選定した指標。5 年連続で選定されています。GPIF が ESG 投資のための株式指数として採用しています。	ESG のうち環境に着目した株価指数で、TOPIX（東証株価指数）の構成銘柄を対象に、環境情報の開示状況と炭素効率性（売上高あたりの炭素排出量）を考慮して、指数への組み入れ比率が決定されています。GPIF が ESG 投資のための株式指数として採用しています。	GRESB リアルエステイト評価において、「スタンディング・インベストメント・ベンチマーク」で最高位「5 スター」および「グリーンスター」を取得。GRESB 開示評価は 9 年連続最高位「A」を取得し、4 年連続で 100 点満点のスコアを取得しています。

MSCI Selection Leaders	MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数	MSCI 日本株女性活躍指数 (WIN)	CDP	CDP サプライヤー エンゲージメントリーダー
米国 MSCI 社により開発された、環境・社会・ガバナンス(ESG)の評価が高い企業で構成された指数です。この指数は、各業種内で ESG 評価が相対的に高い企業を選別し、機関投資家が ESG 投資を行う際のベンチマークとして利用されます。	MSCI 社が開発した ESG 総合型指数で、各業種の中から ESG 格付けが相対的に高い企業を選別して構成されています。GPIF が ESG 投資のための株式指数として採用しています。	MSCI 社が開発した ESG テーマ型指数で、女性活躍推進法により開示される女性雇用に関するデータに基づき、各業種から性別多様性スコアの高い企業を選別して構築されています。GPIF が ESG 投資のための株式指数として採用しています。	国際環境非営利団体 CDP が実施する気候変動に関する企業調査で、気候変動対策において最高評価の A リストに 2021 年より 4 年連続で選定されました。また水セキュリティにおいて A リスト企業に 2024 年度から 2 年連続で選定されています。	国際環境非営利団体 CDP が実施する、温室効果ガス Scope3(上流)排出量の把握と削減目標設定、およびサプライヤーとのエンゲージメントに関する企業の取り組みを評価する調査で、最高評価の A（リーダーシップ）に 2020 年より 6 年連続で選定されました。

当社グループの ESG への取り組みについては、当社コーポレートホームページの[サステナビリティサイト](#)および[統合報告書](#)をご覧ください。

■長期ビジョン「GROUP VISION 2030」と「中期経営計画 2030」について

当社は2021年に長期ビジョン「GROUP VISION 2030」を発表しました。多様なグリーンの中で2030年にありたい姿を実現していく私たちの姿勢を表現する「WE ARE GREEN」をスローガンに、「環境経営」「DX」を全社方針として取り組んでいます。

当社の中核企業である東急不動産では「環境先進企業」をめざして様々な取り組みを積極的に進めております。2022年末には事業所及び保有施設^{※2}の100%再生可能エネルギーへの切り替えを完了し、2024年にはRE100事務局より「RE100」の目標達成を、国内事業会社として初めて認定されました。

2025年5月に当社は2030年度を目標年度とする「中期経営計画 2030」を策定し、「広域渋谷圏戦略の推進」「GX ビジネスモデルの確立」「グローバルビジネスの拡大」の3つの重点テーマに取り組み、強固で独自性のある事業ポートフォリオの構築をめざします。

※2 一部の共同事業案件などを除く

東急不動産ホールディングス「GROUP VISION 2030」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/group-vision-2030/>

東急不動産ホールディングス「中期経営計画 2030」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/ir/mgtpolicy/mid-term-plan/>